



實性

平成二十七年 第三号 お盆号発行

お盆回向のご案内

ご先祖様をお家にお迎えする「お盆」。

各地域の風習により様々なお迎えの仕方があります。その一つに、精霊棚（しょうれいだな）と呼ぶしつらえがありますが、真菰（まこも）を敷いた台に仏壇からお位牌を移し、キュウリの馬とナスの牛を飾り、三具足（灯・香炉・花）を供え、霊膳や季節の野菜などを捧げてご先祖様をお迎え致します。日本人らしい「おもてなし」のまごころがそこにあります。

ご先祖様がいらつしやるからこそ「今の私」があるということ、そして大切なのは、いつも見守り続けてくださっているということです。ご先祖様への感謝の気持ちは、ともすれば日々の忙しさの中に忘れがちになってしまいます。この「お盆」に感謝の意を表しましょう。

特に、新盆を迎えられるお家では、初めてお家に戻られる日でございます。心のこもったご回向をしたいものです。

七月十二日（日）、八月十三日（木）に盂蘭盆会法要が厳修されます。お誘い合わせのうえご参加賜りますようご案内申し上げます。

七月お盆法要

● 七月十二日（日）

午後一時三十分

八月お盆法要

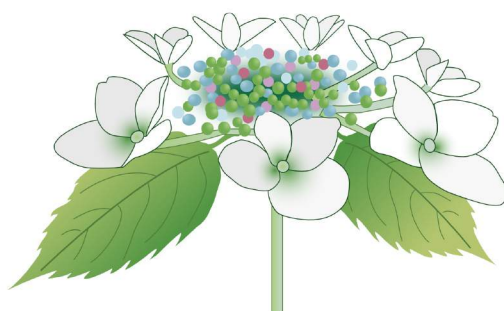
● 八月十三日（木）

第一回 午前十時

第二回 午前十一時三十分

第三回 午後一時三十分

お盆法要のお塔婆はお早めにお申込み下さい。



★ 八月お盆法要のご案内は改めてご案内致します。

お施餓鬼会ご報告

本年のお施餓鬼会は、五月二十六日（毎年五月第四土曜日）晴天のもとに厳修されました。

檀信徒の方々二百五十名様のご参加をいただきました。ご縁の深きご住職方（十五名）とご一緒に「ご回向」させていただきましたこと一重に皆様のお蔭と感謝致します。又、お説教（布教師・田丸英春上人）、余興（柳家我太楼師匠）がございました。

本年度は、折鶴「希望の鶴」をお持ちいただきました。東日本大震災復興を願い、被災地の方々が、元総理大臣・福田赳夫氏奥様の指導のもと折られた鶴です。時はうつりますが、いつまでも忘れることなく絆をもっていたいものです。

平成二十八年度お施餓鬼会は、五月二十一日（土）となります。

ご家族お揃いでお出かけ下さい。やむを得ず欠席の方は、お塔婆を建立して下さい。ご先祖のないお家は、無縁仏にお塔婆の建立をお願いします。

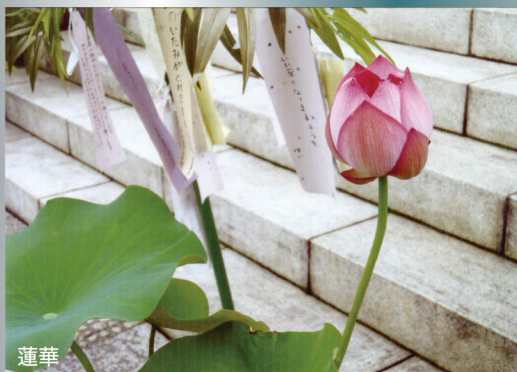


慶弔便り

「弔の部」

二月 十三日	渡邊 圭子殿	令嬢 初美様	六十八歳
二月 二十七日	宮田 実殿	母君 照子様	九十六歳
二月 二十八日	矢吹たか子殿	夫君 正壽様	七十四歳
四月 二日	鈴木 宏殿	母君 アキ様	九十四歳
四月 十三日	池田 明殿	母君 春子様	八十二歳
四月 十五日	遠山 廣司殿	父君 種男様	八十四歳
四月 二十二日	片原紳一郎殿	父君 義東様	八十八歳
五月 七日	阿部 弘二殿	母君 金杉喜代子様	八十五歳
五月 三十日	遠山 真琴殿	父君 洋様	七十一歳
六月 八日	山本 裕一殿	母君 裕子様	七十九歳
六月 十三日	遠山 政宣殿	母君 アキノ様	八十四歳

境内の花



蓮華



甘茶



大山蓮華



未央柳

住職「僧正」叙任

現住職が僧侶の位、「僧正（そうじょう）」に任ぜられました。僧侶としては、一人前になったといわれるのが「僧正」の位です。

古くは宮中より任ぜられていましたが、今日では浄土宗よりの叙任となります。

これも皆々檀信徒各位のお蔭です。住職が受けたというより、お檀家が授けられたものと自覚し感謝の念にたえません。ちなみに浄土宗の僧階は左記のようになります。

◆大僧正（だいそうじょう）

◆正僧正（じょうそうじょう）

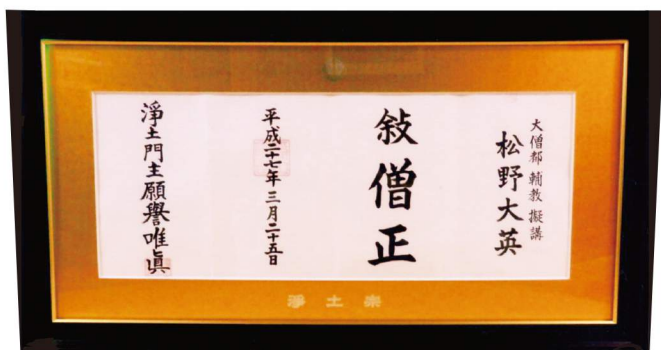
◆僧正（そうじょう）

◆大僧都（だいそうづ）

◆僧都（そうづ）

◆少僧都（しょうそうづ）

◆律師（りっし）



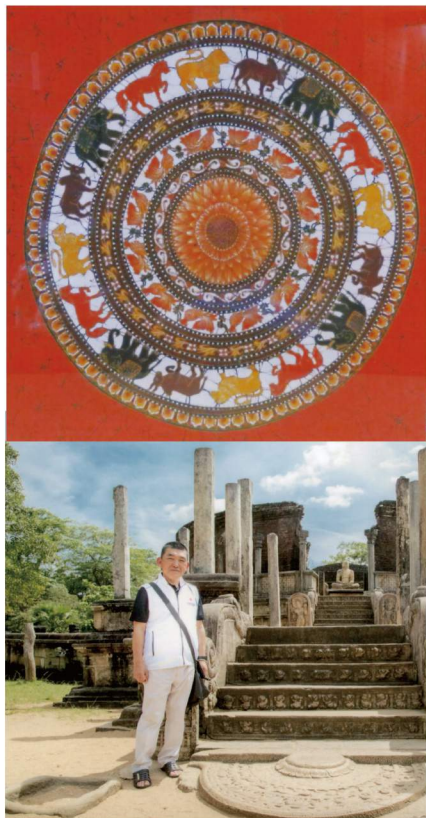
スリランカ仏教交流

住職がスリランカ（旧セイロン）へ仏教交流の為に訪れました。九〇％が仏教徒の国です。

十時間の長旅、遠い国という感じでしたが、大変熱心な仏教信者が多く、仏齒寺（お釈迦様の歯を祀ったお寺）などは二時間待たないとお参りが出来ない程です。巨大なストウーパが数多く点在しており、見事な光景でした。

仏塔等お参りするにはやはり素足で参拝します。二月とはいえ南の国、足裏が火傷しそうです。参拝のおり通るのがムーンストーン（月の石）です。生老病死を表した動物、花の彫刻の上を渡り入ります。又、仏塔にお尻を向けることは致しません。信仰が生きることが感じられます。

写真はそのムーンストーンを写した染織物です。



七夕

会費等ございません

七月七日の七夕に合わせ、本堂前に大笹を設置してごきます。短冊、筆ペン等を置いてございますので、ご自由に願い事をお書きいただき笹に下げてください。

七夕の笹は、六月二十日頃より設置しております。蓮見の会の折もございますので、お書きいただければと思います。この七夕は、小中学生にも好評で、毎年短冊がいっぱいになります。



境内の花



京鹿の子

山法師

黒蠟梅

☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くても十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jishoji.com>